

特定非営利活動法人COCO湘南・会報



コミュニティー

コーポラティブ

COCO-Community地域社会との関わり、Cooperative共同して生活してゆく、の意味

2015年7月

発行所*COCO湘南

〒252-0804 藤沢市湘南台7-32-2

Tel:0466-46-4976

Fax:0466-42-5767

発行者*西條節子



第17回 総会にあたって



NPO法人COCO湘南
理事長 西條節子

正会員の皆様をはじめ、地域の方々にも支えられながら、COCO湘南の掲げた「自立と共生」の生活の種をまき苗を植え育ちあいながら、16年間グループリビング湘南台・ありま・たかくらと三つのリビングを進めてきました。多くの皆様に心から感謝いたします。

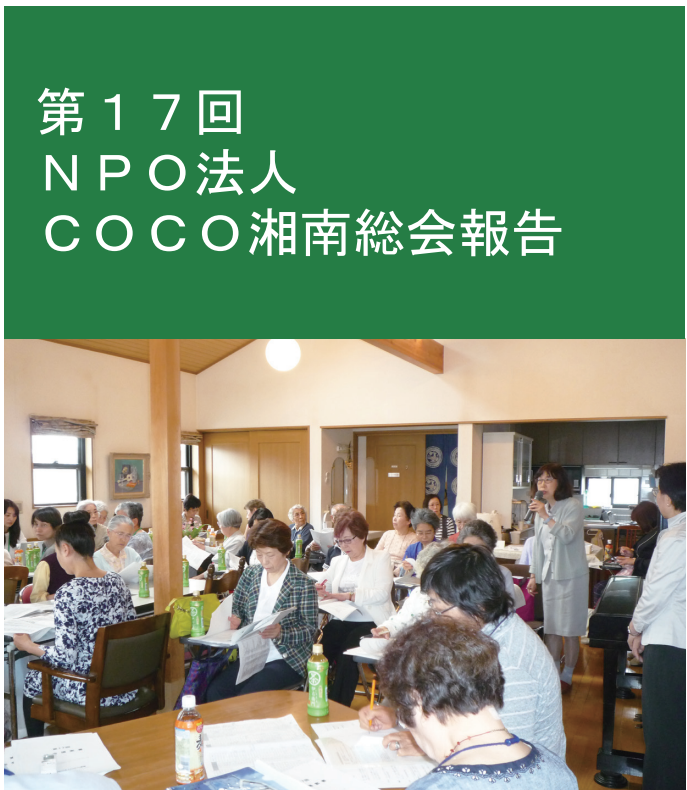
さて、グループリビングは、今、全国に16ヶ所（JKA補助）補助外を含めると約40ヶ所あると認識しております。

特に、慶応大学の支援や各地域の医療機関の理解、更にグループリビング運営協議会事務局としてのCOCO湘南は各地を結び、高齢化社会への暮らし方・支援のあり方等深く関わっていきたいと考えております。

その一方で、政府は生活者、つまり全国民に対して決して良い方向でない事は、すでにご承知の通りです。企業優先ですすみ、自国民は戦前・戦後を苦しい中から協力し合っ

て築き上げた現代の平和を瓦解させていき、国民負担に増々重くのしかかってきています。しかし、私たちはより強く連帯を強めて、この危機を乗り越えていき、市民権を子供から高齢者まで、しっかり護り合っていく力を求められています。

皆様とご一緒に共有していきたいと思います。どうぞ、皆様方のより一層のご指導を賜りますようお願いいたします。皆様のご健勝をお祈りいたします。



2014年度 事業報告

1 会員数 (3月31日現在)

	正 会 員		賛 助 会 員	
	個 人	団 体	個 人	団 体
2013年度	96	3	77	8
2014年度	113	5	89	5

2 グループリビング入居状況

1. 生活者の状況 (3月31日現在)

	湘南台	ありま	たかくら	合 計
2013年度	10	5	10	25
2014年度	10	6	10	26
退去	3	1	1	5
入居	2	2	0	4

平均年齢	78.7歳	85.2歳	80.8歳	80.8歳
最高年齢	88歳	89歳	92歳	—

第17回NPO法人COCO湘南総会は、5月23日(土)にCOCO湘南台で行われました。総会出席者は、正会員113人中91人(内委任状60人)で、総会の成立が確認され、議事に入りました。総会では、まず西條理事長の挨拶、続いて藤沢市市議会議員脇れい子氏、衆議院議員阿部とも子氏、衆議院議員畑野君枝氏の来賓の挨拶がありました。2014年度の事業報告、決算報告、監査報告を行ない、賛成多数により承認されました。

次に、2015年度の事業計画(案)、予算(案)と役員の解任と選出についての提案を行い、こちらも賛成多数により承認され、無事総会を終了しました。最後にアトラクションとして中村美子氏のケーナ演奏会がありました。



主賓 藤沢市議会議員 脇れい子氏



議長 理事 関水秀樹

2. グループリビング研究会の開催

目 的 生活者の「自立と共生」のもと、尊厳ある暮らしを実現するために各GLの情報交換や、ライフサポーターの研修を目的とする。

開 催 参加者 COCO湘南台で毎月第2火曜日14:00~16:00 COCO湘南が運営する3グループリビング(以下GLとする)のライフサポーター、法人役員、事務局のほかCOCO宮内のスタッフも参加。

内 容 各GLでの生活状況報告やイベント紹介、より良いライフサポート、支援困難ケースについての意見交換等。

効 果 ライフサポーターが各GLの情報を共有することによりGL全体の問題として捉え、解決を図ることができると同時にサポーターのスキルアップを通し生活者のQOL(生活の質)向上に繋げることができる。

3 情報発信

会報の発行 年4回発行(7月、10月、1月、3月)・毎号2,000部印刷
配布先:正会員、賛助会員、各市民センター、行政、関係団体等
上記のほかCOCO湘南見学者、イベント、講演会等で配布

4 15周年記念事業

法人設立15周年を記念し、下記のとおり記念事業を催した。

日時 11月8日(土) 13時~15時
場所 藤沢市民会館第一展示集会ホール(レセプションホール)
主催 15周年記念事業実行委員会
(2014.2.10~12.2まで全8回開催)
後援 藤沢市、海老名市、藤沢市社会福祉協議会、藤沢商工会議所、さわやか福祉財団
内容 ①上野千鶴子氏講演会
②ケーナ演奏会(中村美子氏)
③永年勤続者及び協力団体表彰
対象 一般市民及び法人会員
会費 入場料1000円及びび飲食代1000円
参加者 110名
効果 講演会、演奏会(懇親会)等を通じて広く参加者に高齢者グループリビングの15年の歩みと成果を紹介することで、これからの高齢者本位の暮らし方、住まい方について再確認することができた。



主賓 衆議院議員 畑野君枝氏



事務局 中野満



監事 高坂嘉代子



主賓 衆議院議員 阿部とも子氏



司会 亀井里江子



ワーカーズコープおリーぶ 青木静恵氏



ケーナ奏者 中村美子氏

6 講師及びシンポジスト派遣

7月21日	9月6日
場 所 杉並商工会館	イベント名 「脳れい子と語る会」
イベント名 荻窪家族プロジェクト主催シンポジウム	講 師 土井原奈津江氏
講 師 竹内碩子理事	

7 研修受け入れ状況

4月17日	藤沢市立看護専門学校3年生	21名
9月6日	大阪大学工学部建築学科学生	1名
9月16日	藤沢市立看護専門学校3年生	26名
11月18日	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科	2名
12月16日	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	20名

8 取材協力

	取材先	
5月20日	日本テレビ「ナイナイアンサー」	西條理事長、事務局
7月7日	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」	西條理事長、事務局
11月29日	TBSテレビ「いっぽく」	西條理事長、事務局
1月15日	朝日新聞特別報道部記者取材	西條理事長、土井原奈津江

今後の課題

- 1、COCO湘南が運営する3グループリビングでの生活者は元気に日々を送っているが、加齢に伴う様々な問題も生じている。個々の生活支援については様々な公的支援も活用しているが、COCO湘南としてさらにきめ細かい支援が必要と考えられる。また、NPOと行政とのパートナーシップを模索しながら施策について具体的かつ建設的な討議を今後も重ねる必要がある。
- 2、東日本大震災を教訓にグループリビングにおける緊急時対策や防災対策をきめ細かに講じることが引き続き求められる。
- 3、2008年に開設した地域交流拠点「COCOみちしるべ」の運営については、ワーカーズコープ・ホームヘルプおり〜ぶに委託しているが、おり〜ぶが藤沢市から受託し実施する高齢者生きがい対応型サービス事業に生活者も参加し、様々な活動を通じ地域の高齢者との交流と介護予防が図れるよう協力と支援を今後も続けていく必要がある。
- 4、グループリビングの普及啓発については、グループリビング運営協議会への参加を通じ全国のグループリビングとネットワークを構築し、高齢者が「自立と共生」のもと尊厳のある暮らしを実現できるように全国に発信していく必要がある。
- 5、COCO湘南の運営については、中長期的な計画のもと財政計画を再考し、その運営を見直さなければならない。とりわけ「COCOありま」の空室状況を解消するため早急に対策を講じる必要がある。また、新たに発足させた「あり方研究会」の提言を尊重し、健全な運営を図っていく必要がある。
- 6、ライフサポーターの研鑽の場として今後もグループリビング研究会を開催し、生活者の生活の質の更なる向上を図ることが重要である。
- 7、次世代を担う若者たちに「自立と共生」の暮らしを知ってもらい、普及させることは重要な取り組みであり、学生等の研修については今後も積極的に受け入れていく必要がある。

2015年度 事業計画

NPO本部の機関運営

	回数	日時	場所	備考
1 総会	年1回	5月23日	COCO湘南台2F リビング	
2 理事会	年4回	5・8・11・2月	COCO湘南台1F アトリエ	法人活動に関わる討議等
あり方研究会	随時		COCO湘南台1F アトリエ	理事、生活者等の11名の委員により、①理念の整理と見直し ②財政的課題と計画 ③地域支援ネットワークの確立等について審議し、理事会に答申
3 役員会	随時		COCO湘南台2F リビング	理事長、副理事長、常務理事、事務局長による課題協議
4 会員支援	随時			会員管理及び会報等の情報発信等
5 会報発行	年4回	7・10・1・3月		会員、地域、行政、関係機関等への情報発信
6 入居状況の把握	12回	毎月		入居者数 入居率 退去者数等
7 GL入退去時支援	随時			入居契約 退去解約 入居一時金
8 財務管理	随時			理事会に報告
9 ホームページ管理	随時			法人事業の紹介と会報発行、見学会開催等最新情報の公開

COCO湘南の3グループリビング運営事業（COCO湘南台、COCOありま、COCOたかくら）

	回数	日時	場所	備考
1 各GLの生活者支援	毎日		各グループリビング	ライフサポーターによる支援
2 入退去相談支援				新規入居や退去に関わる支援
1) 体験宿泊支援	随時			グループリビング入居希望者等の支援
2) 入退去時の支援				入居時オリエンテーション等
3 生活に必要なサービスの提供	毎日		各グループリビング	「ワーカーズコープおり〜ぶ」「海老名ほっとステーションかがやき」との家事食事支援契約
4 生活者間の交流	随時			
1) 各GLでのミーティング	毎月1回	毎月	各グループリビング	生活者による主体的なミーティング開催
2) GL生活者同士の交流				各GL生活者間の交流を深める。
5 各グループリビング主催の地域交流	各1回	地域毎に決定、実施	各リビング毎に開催	湘南台：サロンコンサート 12月 ありま：未定 たかくら：多世代交流の会「おもちゃで遊ぼう」7月
6 GL研究会の開催	10回	毎月第2火曜日	COCO湘南台1F アトリエ	ライフサポーターの情報交換とスキルアップ
7 安心、安全な住まいの提供と防災対策			各グループリビング	生活の安心安全のため施設設備の修理、更新等
1) 定期的な保守点検				
(ア) 建物	随時	毎月		ライフサポーターによる定期点検および報告
(イ) エレベーター	年2回			業者による定期点検と報告
(ウ) 住宅設備	2回	6月・12月		給湯、ガス、上下水道、電気設備等管理業者による定期点検と報告
(エ) 消防用設備	2回	10・4月又は7・1月		消防設備等管理業者による定期点検の実施と藤沢北消防署への点検結果報告
2) 消防署による立入検査	各1回	10月	各グループリビング	
3) 自主避難訓練の実施	各1回	10月		

グループリビングの研究及び啓発普及事業

	回数	日時	場所	備考
1 グループリビングの紹介				
1) 定例見学会	全6回	第1土曜日		予約制 GLに興味がある方 1回15名程度
	4回	4・8月・10月・2月	COCO湘南台	
	2回	6月・12月	COCOたかくら	
2) 臨時見学会	随時		COCO湘南台	予約制 GL設立を目的とした団体、個人
3) 看護学生実習受け入れ	2回	4月・9月	COCO湘南台	藤沢市立看護専門学校の授業実施 4/14・9/15
4) 大学、大学院生の受け入れ	随時		COCO湘南台	研究等を目的とした学生の研修等
5) 各種メディアの取材協力	随時		COCO湘南台	(予約制) 出版社、新聞社、テレビ局等の取材受け入れ
2 講師及びシンポジストの派遣	随時		全国各地	
3 ネットワークの構築	随時			グループリビング運営協議会への参加

地域交流活性化事業（「COCOみちしるべ」を拠点とした活動）

事業実施主体：ワーカースコープ・ホームヘルプおり〜ぶ
実施事業内容：藤沢市委託事業 生きがい対応型デイサービス

役員の解任と選出

大野木加代子氏がが身上の都合で解任となり、土井原奈津江氏（慶應義塾大学SFC研究所上席所員）が新理事に選出された。

バザーの
お知らせ

日時

7月11日（土）11:00～14:00

場所

湘南台みんなの輪

主催

ワーカースコープおり〜ぶ

高齢者グループリビング普及活動……………2015年4月～6月

- 4月4日

COCO湘南台で定例見学会を開催しました。7名の参加がありました。西條理事長、亀井里江氏が対応しました。
- 4月14日

藤沢市立看護専門学校の授業がありました。西條理事長、土井原奈津江氏が対応しました。
- 6月27日

横浜市泉区の民生委員26名が見学に来られました。

編集後記

一番ヶ瀬康子氏は著書『地域に福祉を開く』で、人権、さらに文化ということをしっかり焦点に入れて、福祉の質の向上を進めることが必要で、福祉文化は、専門家がいくら考えても、住民の自覚、意識が高まっていないとうまくいかないと述べている。COCO湘南のグループリビングは、居住者主導で作られ、運営されている数少ない高齢者共同住宅である。このような住まい方に賛同して入居された居住者は意識の高い方々だと思う。当事者の立場で意見を述べ、グループリビングの質を高め、日本一のグループリビングを作りたいと期待したい。（な）

編集者＊西條節子
大江守之
熊澤淑子
竹内碩子
青木静恵
土井原奈津江